

# ノブール

# 12月



## ノブールチルドレンの残酷 綾崎隼

美波高校に通う旧家の跡取り舞原吐季は、一つだけ空いた部室を手にするため『演劇部』と偽って創部の準備を進めていた。しかし因縁ある一族の娘、千桜緑葉も『保健部』の創設を目論んでおり、部室の奪い合いを発端に、奇妙な推理勝負が行われることになってしまう。反目の果てに始まった交流は、やがて二人の心を穏やかに紐解いていくことになるのだが…。

ミステリーと恋愛です。シリーズ作品なので全部読んでみて下さい。

推薦者 1年3組 鈴木龍冬

## 魂の在処 中山雅史



ほしいものは？

「ひざの軟骨、半月板、テクニク」

天国に行ったら神様になんと言われたいか？

「まだやれるんじゃないか？」

サッカーとは？

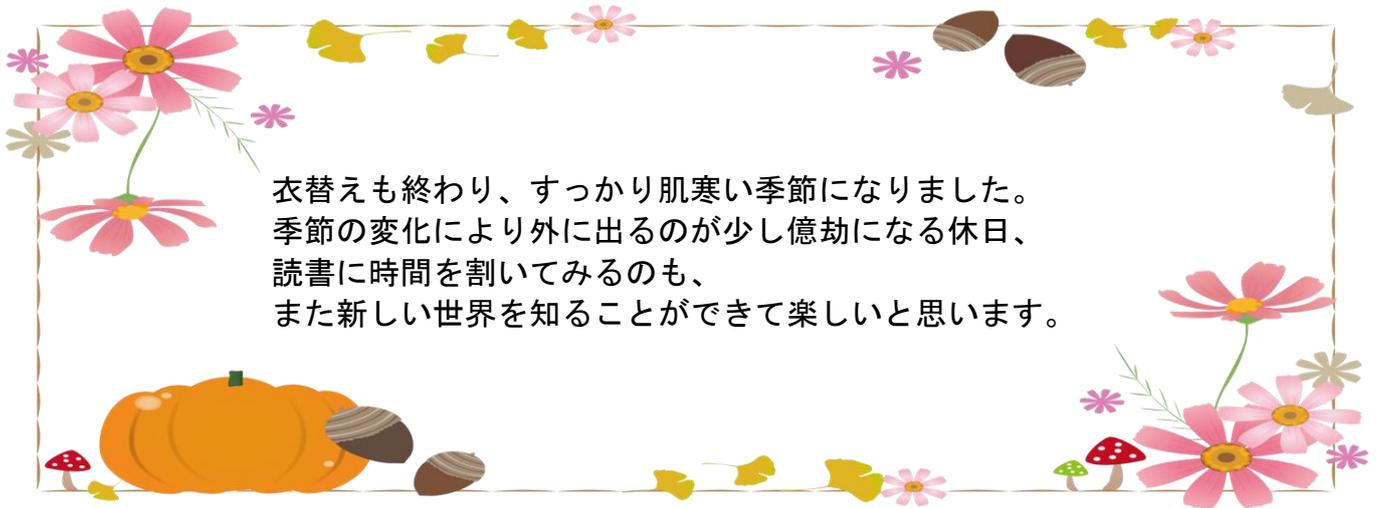
「真剣勝負ができる場所」

天秤の一方にサッカーに対する思いを載せる。反対側になにを載せれば釣り合うのか？

「釣り合うものはない。永遠に」

希代のストライカー、中山雅史の熱情の源を自身の言葉と関係者の証言で明らかにしていきます。サッカーにすべてを捧げた男の実像は、いったいどのようなものなのでしょうか？熱き男のサッカー人生を、是非一度読んでみてください。

推薦者 2年2組 小熊耕太



衣替えも終わり、すっかり肌寒い季節になりました。  
 季節の変化により外に出るのが少し億劫になる休日、  
 読書に時間を割いてみるのも、  
 また新しい世界を知ることができて楽しいと思います。

## 大論争!哲学バトル 畠山創

この本は教科書や資料集に出てくるような哲学者たちが論争を繰り広げるといえるものです。この本を読めば、会話形式で簡単にそれぞれの主張や説を知ることができます。もちろん、本の中の出来事ですので、時代や国境さえも越え、彼らは自らの主張を語ります。

「難しい言葉ばっか読んでいたくない!」という人も、そもそも哲学が好だという人もきっと飽きずに楽しく読める と思いますよ。

推薦者 1年5組 矢島芽衣



## 億男 川村元気

ある日、宝くじに当選し、3億円を得た男。一男は兄の借金を肩代わりし、妻と娘と別居していた。この3億円で借金を返済し、また・家族みんなを暮らせると希望を持つ一男だったが、自分と同類の姿を求めネットで検索すると、そこには大金を手にした人の悲惨な人生についてたくさん書かれていた。それを目にした一男は、友人で億万長者である九十九に相談することにした。そして久しぶりに九十九と再会し、一男は九十九と酒を飲み酔いつぶれて寝てしまう。そして一男が目覚めると3億円とともに九十九はいなくなっていた。一男は消えた九十九を探しながら色々なことを学んでいく。

この小説は映画化もされていて、とても面白い作品菜なので、ぜひ読んでみてほしいです。

推薦者 2年1組 水野佑紀

『あまり本を読まない私が久しぶりに一気に読んだ。億という金をいきなり手にした男はどうなってしまうのか。金と人間の生かすし話を聞かされたら何だか涙が溢れた。これは字を持つ親にはたまらない物語だ。読後、いきなり嫌を抱きしめられた。責任を取れ、川村元気!大原澤(著)『読み終わった時、お金といつもの僕らのポケットの中にあるこいつがとんでもない怪物に思えてきた』岩井俊二(映画監督)『やっぴお金とは友だちのようだ。ここにたらいしけれど、僕は億で生きていきたい!』松浦弥太郎(『零らしの手帳』編集長、エッセイスト)